
三島市長定例記者会見資料
平成27年2月
月間行事予定



2月23日 富士山の日

日時 平成27年1月23日(金)
午前10時30分～

場所 三島市役所 本館2階 応接室



先輩ママと一緒に作った 「産前・産後サポートガイド」の発行について

三島市では、平成26年度厚生労働省少子化対策モデル事業に採択されたのを機に、妊娠から出産、子育て期までの「切れ目ない支援」をさらに強化し、安心して子どもを産み、育てられる環境を整えているところです。

このたび、市内在住の現役子育てママの体験をもとに、三島で安心して出産・子育てができることをイメージできるよう編集された「産前・産後サポートガイド」を製作し発行します。

このサポートガイドを、市内のこれから妊娠・出産を希望する若い世代に周知することにより、三島市で妊娠・出産・子育てをすることに夢や希望を持ってもらい、子育て世代の人口増加を目指すものです。

なお、「産前・産後サポートガイド」の完成について、下記のとおり市長に報告いたします。

記

- 1 市長報告日時 平成27年1月27日（火）午前10時から
- 2 場 所 市長応接室
- 3 出席者 編集に携わった三島市在住の先輩ママ（親と子4組）
- 4 サポートガイド概要
 - (1) 配布開始：平成27年2月2日（月）
 - (2) 仕 様：B5版 8ページ
 - (3) 部 数：1,000部
 - (4) 掲載内容：現役の子育て中ママの、実際に産前産後に困ったことや不安だったこと等の声をもとに、それらをどんな形で解決したのかを参考にしながら、Q&A方式で構成し、併せて市の子育て施策や社会資源を紹介しています。
 - (5) 配 付：市民課での婚姻届提出時や市外から転入する希望者へ配布。



「三島市子ども・子育て会議」から市長への答申について

「三島市子ども・子育て支援事業計画」の策定等について、三島市子ども・子育て会議（会長 三田英二）が次のとおり、三島市長に答申を行います。

記

- 1 答申日時 平成27年2月2日（月）午前10時から
- 2 場 所 市長応接室
- 3 出席者 三島市子ども・子育て会議 会長 三田 英二
同 副会長 上野 ^{のりこ} 永子
- 4 答申内容 (1) 三島市子ども・子育て支援事業計画の策定について
(2) 子ども・子育て支援新制度に係る三島市の利用者負担について

5 諮問の背景

急速な少子化の進行や待機児童の問題等、子どもや子育て家庭を取り巻く様々な課題に対応するため、平成24年に「子ども・子育て関連3法」が制定されました。

市では、この子ども・子育て関連3法に基づく新たな制度の実施主体としての役割を担い、子どもの幼児期の学校教育・保育の一体的な提供、保育の量的拡充、家庭における子育て支援事業等を総合的に推進していく必要があるため、三島市子ども・子育て支援事業計画の策定等について、三島市長から当会議に対して諮問したものです。

6 会議の概要

三島市子ども・子育て会議は、教育・保育・子育て支援事業関係者や保護者、学識経験者、公募による市民等、各分野を代表する20名の委員により構成されています。平成25年8月29日に第1回の会議を開催してから、現在までに会議を7回、ワーキンググループ検討会を3回開催し、計画の基本理念や基本目標、5年間の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の必要量などについて活発に議論を重ね、審議して参りました。



災害対策本部情報処理訓練の実施について

1 概要

大規模災害であっても最善の災害対応が行えるよう、災害対策本部の情報処理方法等の検討を行うため、県危機管理部の指導のもと、本部運営に関する職員及び防災関係機関による災害対策本部情報処理訓練を実施する。

2 訓練実施日時 平成27年2月9日(月) 午前9時30分～12時

3 場所 総合防災センター 災害対策本部

4 参加者 約70名

三島市(防災関係各課、本部関係職員)、オフロードバイク隊、三島市消防団、県、国土交通省、陸上自衛隊第34普通科連隊、三島警察署

5 訓練指導 小平隆弘 県危機管理指導監(元陸上自衛隊第1施設団副団長)

6 訓練内容

- (1) 本部での情報処理の方法
- (2) 対応を依頼する各課・各機関への伝達方法
- (3) 防災関係機関との災害応急対応の協議



[昨年度の訓練の様子]



問合せ 危機管理課 電話 055 - 983-2650

本部情報処理訓練基本想定

本訓練の想定は、第4次地震被害想定（南海トラフ巨大地震、地震動は基本ケース）を基本とする。

1 地震の状況

- (1) 発生日時 2月9日（月）午前3時頃（発災7時間後）
- (2) 震源域 駿河トラフ・南海トラフ沿い
- (3) 規模 マグニチュード9クラス
- (4) 市内の震度 全域に震度6弱
- (5) 静岡県内の震度 中部・西部を中心に全域で震度7～6弱

2 気象の状況 降雨なし。天気予報は「晴れ」。

3 人的被害 全県的に、死者・負傷者・行方不明者が多数発生。

4 建物被害

全県的に、全壊・半壊・焼失建物が多数発生。市内にも、建物倒壊等が見受けられる。

5 道路・鉄道の状況

- ・ 主要幹線道路の通行不能箇所が多数あり。
- ・ その他の路線・区間も、崩土、液状化等により各所で車両の通行が困難な状況。
- ・ 新幹線・JR在来線・私鉄列車とも地震発生直後から運行を休止し、被害の調査中。

6 市の状況

- ・ 午前3時30分に災害対策本部を設置。発災が勤務時間外であったため、職員の半数が参集済。

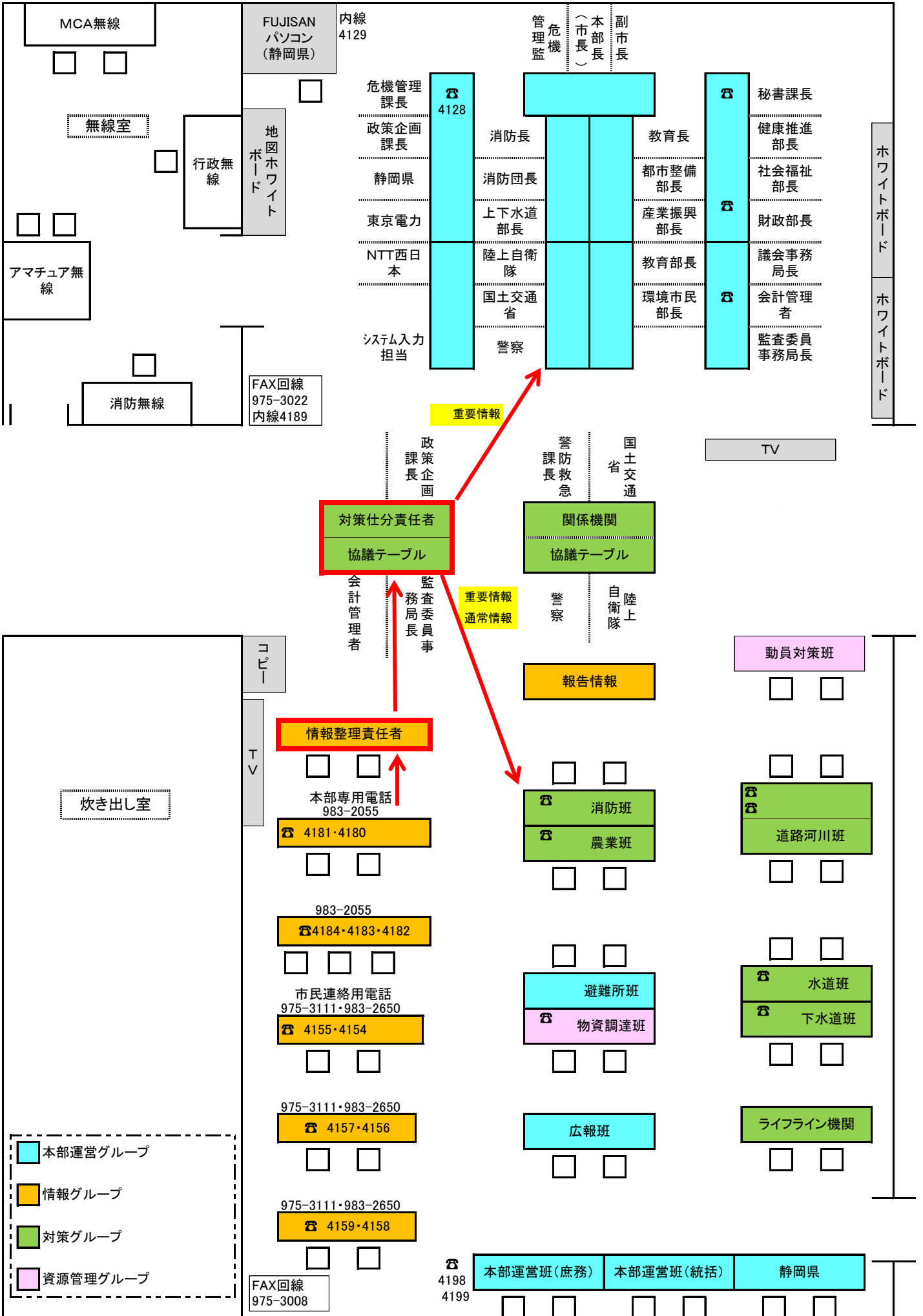
7 電気・通信

- ・ 市内全域で停電している。
- ・ 三島市総合防災センターでは自家発電が稼動し、通信機器等使用可能である。
- ・ その他の庁舎に関しては、自家発電が故障しており、通信機器等使用不可能。
- ・ 防災行政無線（ホットラインを含む。）、衛星携帯電話、インターネット（FUJISAN・一斉配信システムを含む）は使用できる。
- ・ 一般電話、携帯電話の通話機能はつながりにくい。

8 防災関係機関の参集状況

- ・ 陸上自衛隊 陸上自衛隊第34普通科連隊20名が指揮所に到着済。
- ・ 国土交通省 災害現地連絡員が到着し、あと1時間で緊急災害対策派遣隊が到着
- ・ 警察 緊援隊は未到着。三島警察署のみで対応中。
- ・ 消防本部 緊急消防援助隊は未到着。消防本部のみで対応中。

三島市災害対策本部室配置図案



検 証 事 項

1 本部体制の目標

- ① 500件、1000件の情報が入る大規模災害でも優先順位を付けた対応に努めること
- ② 重複して入った情報を整理すること
- ③ 停電時に対応する仕組みをつくること
- ④ 本部主導で対応状況を一元管理すること

2 過去の訓練での確認済の事項

- ① 情報整理責任者と対策仕分責任者の役割が重要であること
- ② 情報には上りと下りがあること
- ③ 情報は受付番号をID番号として管理すること
- ④ 基本は本部での情報共有は地図とシステム、紙ベースで行うこと
- ⑤ 情報伝達は基本的に情報連絡票で行うこと

3 今回の訓練で検証したい事項

- ① 本部室のテーブルの配置
- ② 防災関係各課のテーブルを本部室に設置し、本部から指揮すること
- ③ 新たなレイアウトによる変更後の情報処理のフロー
- ④ 内線電話を使用した各課との連絡
- ⑤ 本部では重要情報を把握すること

4 情報伝達手段

- ① 本部(大社町別館)→各課(本庁・中央町別館・健康センター)：内線電話、FAX、徒歩又は自転車(災害時は作業班が伝達)
- ② 消防本部：原則、消防無線

5 今後、別途検討する事項

- ① 各防災関係課の職員数の確保
- ② どこまで電話を一元化するか(水道課・下水道課)
- ③ 各課で直接対応する事案の範囲や考え
- ④ 避難所からの要請・報告事項の処理
- ⑤ 各課に入った情報を一元管理すること



雄大株式会社との健康づくりに関する協定の締結について

三島市では、健康を核としたまちづくり「スマートウェルネスみしま」を通じて、市民が健康でまちも元気で活気あふれる“健幸”都市づくりを進めています。

このたび、雄大株式会社と健康づくり事業（健診受診率向上等）の面での連携の仕組みを構築するために「健康づくりに関する協定」を締結することとなり、下記のとおり調印式を行います。

記

- 日時** 平成27年2月13日（金）午前11時00分から
- 場所** 三島市役所本館2階 市長応接室
- 目的** 健康づくりに関する取り組みを協働で推進することで、市民の健康増進を図るとともに、食を通じた健康まちづくりに資することを目的とする。

4 出席者予定

- （1）雄大株式会社 代表取締役 土屋 雄二郎（つちや ゆうじろう）
（沼津市黒瀬町53）
- （2）三島市長 豊岡武士

5 連携事業

目的を達成するため、恒久的な健康づくり支援の仕組み作りも視野に入れて、相互に連携をとりながら以下の項目を重点的に協働事業を進める。

- （1）市民の健康増進、健診受診率向上に向けた事業
 - ・ 特定健診・がん検診に使用する広告付き封筒の寄付、出張！健幸鑑定団の実施
 - ・ 健診受診率向上キャンペーン（予定）
- （2）食を通じた健康まちづくりの推進に関する事業
 - ・ 健幸づくり推進店への登録、市との協働によるヘルシーメニューの提供など（予定）

6 これまでの連携事業

- （1）健診受診率向上キャンペーン
 - ・ 実施期間 平成26年8月1日（金）～平成26年12月31日（水）
 - ・ 事業概要 20歳以上の三島市民が、健診受診の証明書を持参して来店した際に、雄大グループ各店で利用できる1,000円分の金券をプレゼント。
 - ・ 参加者 294名
- （2）「出張！健幸鑑定団」（三島市初の居酒屋実施）
 - ・ 開催日時 平成26年8月29日（金）・午後6時～午後7時半
 - ・ 会場 創作料理ゆうが三島（三島市一番町13-13 フジミビル4F）
 - ・ 内容 体組成測定や呼気中一酸化炭素濃度測定などを実施し、結果を目安として、健診受診や医師の診察を勧奨した。
 - ・ 参加者 33名



三島若者会議 2015 について

1 三島若者会議 2015 とは

将来の三島を担う元気なリーダーを育成することを目的として実施している三島若者元気塾（生涯学習課主催 2011 年～）の合宿の通称名。今回初めての開催。

2 合宿の目的

三島市内外の若者が集まり、若者目線で三島市の 2030 年のビジョンを討論するとともに、人脈形成や志の涵養を図ります。

3 討論内容

4つの分野「産業と観光」、「食と農」、「教育・子育てと医療」、「環境・エネルギー」でグループ分けし 2030 年の三島がどうあるべきかを考え、そのために具体的にどう行動するべきかを討論します。なお議論結果は市長をはじめとする審査員にプレゼンし、審査員が応援できるプランについては実現に向け、取り組み続けます。

4 日時、場所

平成 27 年 2 月 21 日（土）10 時～22 日（日）正午、箱根の里ほか

5 講師

・水野 隆徳 元気塾塾長、石井 真人 全体講師、田原 慎介 講師

6 参加者

・三島市内：塾生（市内在住・在勤・在学の 40 歳程度までの青年（合宿のみの参加も積極受入））

・三島市外：サポートメンバー（石井講師紹介の各分野で活躍する方々）

※塾生が考えるプランに、その道の専門家であるサポートメンバーから外部の目を持った アドバイスを受けることでより具体的な計画を練ることが出来ます。

7 審査員

・豊岡市長 ・水野塾長 ・企業経営者（雄大(株)土屋社長）

・金融機関（静岡銀行 岡田三島支店長） ・NPO（グラウンドワーク三島 志村理事）

8 参加費

・参加費(食費、宿泊費込) 社会人 2,000 円 学生 1,500 円



「2月23日は富士山の日」

富士山を後世に引き継ぐことを期する日として、静岡県では2月23日を「富士山の日」と決めました。三島市も市内の豊かな自然が富士山の恩恵であることを再確認する機会として、協賛事業等を企画しましたので、ぜひご参加ください。



©静岡県

1 「富士山の日」に関連したイベント・講演会等 (2、6、7、9、10は事前申し込みが必要)

NO.	事業名	時 間	場 所 (問合せ先)	内 容
1	郷土教室 富士山溶岩を観察しよう	2月15日(日) 2月23日(月) 10:00～12:00 13:00～14:30	郷土資料館 (971-8228)	富士山溶岩の顕微鏡観察や伊豆半島の化石の観察 ※23日は三島環境カルタも実施 ※参加費無料
2	富士山エコキャンドルをつくろう ※材料費100円、要申込	2月21日(土) 9:30～12:00	北上公民館 (987-5950)	廃油(植物油)で富士山形のエコキャンドルを作る ※市内在住在勤者対象
3	「富士山の日」記念スペシャルおはなし会と工作	2月21日(土) 10:30～11:30 13:30～14:30	図書館児童コーナー (983-0880)	富士山にちなんだ本の読み聞かせと工作「てつぼうする富士山」を作る
4	富士山のしおりを作ろう!	2月21日(土) 10:00～11:30 13:30～15:30	図書館中郷分館 おはなしコーナー (982-5102)	富士山にちなんだ本の展示と富士山形のしおりを作る
5	富士山の日ふれあいコンサート	2月21日(土) 14:00～15:30	北上公民館 (987-5950)	富士山や静岡県の歌やオペラなどを織り交ぜた、子どもから大人まで楽しめるコンサート
6	第21回三島まちなか歴史探検隊 ※先着50人、要申込	2月21日(土) 9:00～12:00	錦田こども園、向山古墳公園、竹倉屏風岩他 : 市民活動センター (983-2693)	夏梅木、向山にある史跡等を「三島ふるさとガイドの会」の案内により巡る※2/13(金)までに要申込
7	ジオツアー ※前日17:00までに要申込	2月22日(日) 10:00～	楽寿園 (975-2570)	静岡県地学会の先生の話聞きながら富士山の溶岩を見ることができる最南端と言われる楽寿園の溶岩や浅間神社、白滝公園を見学するツアー
8	富士山の日イベント	2月23日(月) 10:00～	楽寿園 (975-2570)	223(ふじさん)当てクイズやガイドツアー、楽寿園どうぶつ心理テスト等小学生向けの楽しいプログラムを用意



せせらぎと緑と元気あふれる協働のまち・三島 ～環境と食を大切に～

9	講演「富士山と三島」 ※要申込	2月23日(月) 13:30～15:00	市民文化会館大会議室 : 環境政策課 (983-2647)	元富士山測候所長による富士山の基礎知識や測候所体験談等講演会 ※2/19(木)までに申込み
10	認知動作型トレーニングマシン無料体験教室 ※各回先着10名、要申込	2月28日(土) ・13:00～14:00 ・14:30～15:30 ・16:00～17:00	県総合健康センター (973-7000)	トレーニングマシンの無料体験 ※2/27(金)までに要申込、中学生以上が対象
11	富士山を作ってみよう	2月23日(月) 10:00～16:00	生涯学習センター内 児童センター (983-0890)	折り紙で富士山を作る ※参加費無料

2 特別開館施設

12	楽寿園	2月23日(月) 9:00～16:30	楽寿園 (975-2570)	
13	郷土資料館	2月23日(月) 9:00～16:30	郷土資料館 (971-8228)	
14	図書館本館	2月23日(月) 10:00～16:00	生涯学習センター内 図書館本館 (983-0880)	
15	児童センター	2月23日(月) 10:00～16:00	生涯学習センター内 児童センター (983-0890)	

3 入場料無料施設

16	市民温水プール無料開放	2月23日(月) 9:30～12:30、 13:30～16:30	市民温水プール (980-5757)	入場料無料 ※高校生以下対象
17	楽寿園	2月23日(月) 9:00～16:30	楽寿園 (975-2570)	入園料無料

4 長期間の展示 (休館日を除く)

18	懸垂幕掲示	2月2日(月)～ 2月23日(月)	三島駅南口 : 政策企画課 (983-2616)	三島市が作成した懸垂幕を三島駅南口に掲示
19	「富士山の日」記念展示	1月31日(土)～ 2月26日(木) 9:30～19:00 (土日祝は17:00まで)	図書館本館 (983-0880)	富士山に関する図書を展示、貸出

問合せ 政策企画課 電話 055-983-2616



平成27年度三島市花壇コンクールの実施について

1 対象花壇

春の花壇

2 応募部門

保育園の部・幼稚園の部・小学校の部・中学校の部・団体の部・
個人の部（エキスパート）・個人の部（ビギナー）

3 応募期間

平成27年2月23日（月）～3月13日（金）

4 応募規定

- ・フラワーポット、プランターなどは概ね5個以上とします。
- ・草花の種類は問いません。
- ・個人・団体の部は道行く人の目にふれる場所にあるものとします。
- ・樹木の花を中心としたものは対象外とします。
- ・市内の自主製作の花壇のみを対象とし、専門業者に製作・管理を委託しているものは対象外とします。

5 その他

- ・4月中旬に現地審査を予定
- ・5月下旬に表彰式を予定





「防災講演会～命を救う地域の救護活動～」の開催

大規模災害発生時には多数の負傷者が同時に発生し、医療スタッフが不足すると考えられます。三島市では傷病の程度に応じて措置する病院など医療救護体制が定められております。傷病者の搬送は自主防災組織が行うことになるため、誰から搬送するのか、市内4小中学校の救護所に搬送するのか、救護病院又は災害拠点病院に搬送するのかという判断が求められます。三島市の医療体制の概要や傷病者の優先度及び搬送先を決定する市民トリアージを周知するための防災講演会を開催します。

1 日時

平成27年3月8日（日） 午後1時30分から（1時開場）

2 場所

順天堂大学 三島キャンパス 11番教室

（駐車場はないため、公共交通機関をご利用ください。）

3 講演内容

(1) 講演1（13:40～14:00）

三島市の災害時の医療体制

講師 三島市医師会災害対策担当理事 鈴木 衛 氏（三島中央病院 医師）

(2) 講演2（14:10～15:50）

災害時の医療と市民トリアージ

講師 NPO法人 災害・医療・町づくり副理事長 大村 純 氏（静岡市 大村医院 院長）

*「NPO法人災害・医療・町づくり」は、災害医療に関わる人が集まり災害時医療の訓練に関する事業を行い、住民が災害時自立して地域を守れること、また住民と、病院、行政との連携を構築することをめざし設立した団体です。

4 定員 240名（先着順）

5 入場 無料

6 申込み 電話、FAX、メール、いずれかの方法でお名前、連絡先と参加人数をお伝え下さい。

7 後援 一般社団法人三島市医師会

問合せ 危機管理課 電話 055 - 983 - 2650



三島市



記者会見資料

せせらぎと緑と元気あふれる協働のまち・三島 ～環境と食を大切に～

平成27年2月の月間行事予定



第34回三島かの川健康マラソン大会の開催について

(1) 概要

親子1. 5 km、3 km、6 kmコースの三部門でマラソン大会を開催します。

(2) 日時

平成27年2月1日（日）

(3) 開会式

午前 9時00分 長伏Aグラウンド（全部門）

(4) スタート

午前 9時40分（親子1. 5 kmコース）

午前10時00分（6. 0 kmコース）

午前10時50分（3. 0 kmコース）

(5) コース

長伏Aグラウンド～狩野川堤防～長伏Aグラウンド

（コースにより折り返し地点が異なります。）



問合せ スポーツ推進課 電話 055 - 987 - 7571



第15回三島宿「地口行灯」と開運初午ツアーについて

1 開催目的

三島の昔の文化や歴史に触れてもらい、来街者に三島の良さを知っていただくとともに、行灯のほのかな明るさで街並みを彩り、商店街へより多くの方に訪れて頂き、にぎわいの創出を図ります。

2 イベント内容

① 三島宿「地口行灯」

大通り商店街と笑栄通り、三石神社に楽しい地口行灯約220基が並び、自然な“あかり”で演出します。今回で15回目となり、既に冬の三島の風物詩となっています。心に染み入る作品や、思わずニヤリとする面白い作品まで、作者の個性が感じられる様々な作品が揃います。行灯には、地口・川柳の入選作品と戯画が描かれます。

日 時 2月5日(木)～10日(火)

展示時間 10:30～20:30

点灯時間 17:30～20:30

場 所 大通り商店街(三石神社～中央町)、笑栄通り、三石神社境内

※地口行灯とは、江戸庶民文化の一種である地口という言葉遊びを、今に蘇らせ現代的に創作した作品を書き込んだ行灯のことです。三島の街を題材にした地口を和紙に書き込み行灯にしたものを「三島宿地口行灯」と呼び、応募作品数は全国最大規模です。

② 春開運初午ツアー

街なかのお稲荷さん、話題のスポットとギャラリーを巡るツアーを開催します。

(ふるさとガイドの会の皆様にご案内いたします。)

開催日 2月8日(日)

受付時間 10時～11時(順次出発します)

集合場所 三嶋大社 鳥居前

所要時間 約2時間

参加料 無料(事前申込み不要)

3 主催

三島宿「地口行灯」と初午ツアー実行委員会





平成26年度 生涯学習まつりの開催について

- 1 **開催目的** 日頃より生涯学習センターを活動の場とする市関連団体の学習成果発表の場として開催する。開催にあたっては、参加団体の代表による実行委員会組織が企画・運営を行うことにより、各団体間の相互交流を活性化させる。
平成19年度まで実施していた「生涯学習フェスティバル」を本事業と統合し、生涯学習フェスティバル内で実施していた「生涯学習功労者表彰式」を平成20年度より生涯学習まつりオープニングセレモニーとともに実施している。
- 2 **開催回数** 17回目 ※平成12年度までは生涯学習フェスティバルとして実施し、平成13年度より関連団体の代表者からなる実行委員会形式で、事業名を「生涯学習まつり」として実施。
- 3 **開催日時** 平成27年2月7日（土）～2月8日（日）
 - 生涯学習功労者表彰式及びオープニングセレモニー
2月7日（土） 9時30分から 3階 講義室
 - 展示部門
2月7日（土） 10時00分～16時00分
2月8日（日） 10時00分～15時00分
 - 発表部門
2月7日（土） 13時30分～15時30分
2月8日（日） 10時00分～11時35分
 - ファミリーコーナー
2月7日（土） 10時00分～15時00分※
2月8日（日） 10時00分～15時00分
※一部イベントは午後のみ実施
- 4 **会場** 三島市民生涯学習センター
- 5 **主催** 生涯学習まつり実行委員会（共催 三島市教育委員会）
- 6 **参加団体** （12団体）
中央婦人学級・南婦人会・いきいき友の会・少年少女発明クラブ
マナビスト連絡会・ジュニアリーダー研修実行委員会
ヤングカレッジ・OWL・和倶楽部・三島市地域活動連絡協議会
三島いきいきカレッジ・三島市障がい者就労支援きょうどう隊
- 7 **行事内容及び生涯学習功労者** 別紙のとおり

平成26年度 三島市生涯学習功労者表彰式

地域における生涯学習活動を推進するため、多年にわたり生涯学習の振興に功績のあった方及び全市的見地から生涯学習関係の団体活動に精励し、生涯学習の振興に功労のあった方等に対し、その功績をたたえ市長が表彰します。

なお、表彰は下記のとおり『生涯学習まつり』のオープニングで行います。

記

- 1 日 時 平成27年2月7日（土）午前9時30分～
- 2 場 所 生涯学習センター 3階 講義室
- 3 表 彰

平成26年度生涯学習功労者

(敬称略)

氏名	受賞内容
鈴木 緑郎 (すずき ろくろう)	書道講師
久保田 松幸 (くぼた まつゆき)	文芸三島編集委員
田邊 まなみ (たなべ まなみ)	子どもマナー講師 礼儀作法サークル講師
蓮池 淳子 (はすいけ じゅんこ)	少年教室 あすなろ音楽教室講師
三島市合唱協議会 (みしましがっしょうきょうぎかい)	文化芸術及び生涯学習の振興
三島市立図書館音訳ボランティアグループ (みしましりつとしょかんおんやくぼらんていあぐるーぷ)	ボランティア活動及び 生涯学習の振興



東駿河湾環状道路開通一周年記念イベントの開催について

東駿河湾環状道路開通1周年を記念して下記のとおり開催されますのでお知らせいたします。

1 **開催日** 平成27年2月11日（水・祝）

2 **概要** ※詳細は別添チラシを参照してください。

(1) 開通1周年記念シンポジウム

会場 函南町文化センター大ホール 開演 14:00

①基調講演1 「伊豆地域のみちづくり」

②基調講演2 「東駿河湾環状道路の効果と伊豆半島の連携について」

③基調講演3 「海外の道、伊豆の道」

④提言・意見発表 テーマ「東駿河湾環状道路と伊豆縦貫自動車道の効果と期待」

⑤パネルディスカッション

「伊豆縦貫自動車道による県東部・伊豆地域の未来づくり」

(パネリスト) 高木敦子氏、三島市長、沼津市長、伊豆市長、

伊豆縦貫自動車道建設推進期成同盟会会長 田中豊氏

(コーディネーター) 函南町長

(2) 観光PR展&物産展 時間 11:00～15:00 場所 函南町文化センター

3 **主催** 東駿河湾環状道路開通1周年記念イベント実行委員会

(三島市、函南町、沼津市、熱海市、伊東市、下田市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、

東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、清水町、長泉町、静岡県、沼津河川国道事務所)



問合せ 都市整備課 電話 055 - 983 - 2763



第8回「伊豆マラソン大会」の開催について

1 第8回「伊豆マラソン大会」の開催

(1) 概要

3 km、10 km、21.7 kmコースの三部門でマラソン大会を開催します。

3 km、10 kmコースは三島市内、21.7 kmコースは伊豆市修善寺から三島市までを3部門合計約3,800人が駆け抜けます。

(2) 日時

平成27年2月15日（日）

(3) 開会式

三島会場（3 km、10 kmコース） 午前8時20分

修善寺会場（21.7 kmコース） 午前8時30分

(4) スタート

午前8時45分（10 kmコース） 三嶋大社

午前9時00分（3 kmコース） 三嶋大社

午前9時02分（21.7 kmコース） 修善寺駅北

(5) 参加者数（1/14現在）

3 km 847人

10 km 912人

21.7 km 2,108人 計3,867人





第33回三島市民演劇祭について

三島市並びに近隣市町等の演劇関係団体が、日頃の活動成果を発表し合い、演劇活動の推進及び演劇鑑賞の機会として提供することを目的に「第33回三島市民演劇祭」を開催しますので、報道方よろしくお願い致します。

1 主催 三島市民演劇祭実行委員会
三島市教育委員会

2 開催日時 平成27年2月15日（日）
10:30 開場
10:45 開会式
11:00 開演
18:55 終演予定

3 場所 三島市民文化会館小ホール

4 演目 11:00～ シアター万華鏡「長崎の鐘」
12:50～ 加藤学園高校演劇部「escape」
14:00～ 三島かたりべの会「ふるさとの昔話より」
15:00～ 三島北高校演劇部「白雪姫？」
16:20～ ～M f o r y o u～「スペースファンタジー ～はやぶさの奇跡～」
17:40～ S木道場「～三島のふつうの女たち～」

5 入場料 一般（大学生以上）1,000円、学生（高校生以下）500円

6 昨年度の入場者数
延べ328人（一般293人、学生35人）

7 その他 開催当日に報道関係者の皆様が入場される場合は、受付へ取材の旨お申し出ください。





子供の森緑化整備「アジサイなどの植樹」について

1 日 時

平成27年2月19日（木） 午後1時30分～2時30分

※ 坂小学校を午後1時10分頃出発し、子供の森に到着し、作業を開始します。
作業時間は1時間程度の予定です。

2 場 所

子供の森公園（三島市字観音洞）

3 主 催

三島市・三島市緑化運動推進協議会

4 内 容

アジサイとミツバツツジ 計100本の植樹を予定しております。

5 参 加 者

三島市坂緑の少年団（三島市坂小学校 児童）

6 そ の 他

雨天の場合は、中止します。



ガーデンシティみしま



問合せ 水と緑の課 ガーデンシティ推進室 電話 055-983-2642



三島市



記者会見資料

せせらぎと緑と元気あふれる協働のまち・三島 ～環境と食を大切に～

三島の文化応援プロジェクト

Culture and Life Enrichment

キックオフイベントの開催について

1 開催趣旨

文化によるまちづくり・人づくりを進めるため、市民の文化活動の活発化を図る取組みの一つとして、このたび「三島の文化応援プロジェクト」を立ち上げる運びとなりました。

このプロジェクトの第一弾として、アートにとどまらず様々な分野にわたるプロジェクトのディレクションを行う鈴木一郎太さんをゲストに迎え、トークイベントを開催します。

2 日時

平成27年2月21日（土） 午後2時～4時

3 会場

生涯学習センター3階 講義室

4 テーマ・内容

「文化や芸術に興味がある人が自然に集まってくる場所ってどうやったら作れるの？」をテーマに、ゲストによるプレゼンテーション及びゲストと参加者による意見交換

5 ゲスト

鈴木 一郎太 氏（株式会社大と小とレフ取締役）

プロフィール

高校卒業後、米国と英国で絵画アーティストとして活動し、1997年に帰国。NPO 法人クリエイティブサポートレッツのスタッフとして、2007年から2013年まで業務全般に関わる。深澤孝史と共に「たけし文化センター」コンセプト起草。「障害福祉施設アルス・ノヴァ」、「たけし文化センターINFO LOUNGE」（情報センター）をディレクションした他、様々な分野や人と連携し「たけし文化センター」事業を進めた。13年12月、建築家の大東翼氏との共同経営で、設計・建築やイベント企画を手掛ける「大と小とレフ」（中区）を設立した。同社取締役として、万年橋パークビル1階のセミナースペース「黒板とキッチン」の企画運営などを担当する。

6 参加費

無料

7 申込み

メールで、三島の文化応援プロジェクト事務局（担当/住^{すみ}）mishimanobunka@gmail.comまでお申し込みください。

問合せ 文化振興課 電話 055 - 983 - 2672



地域少子化対策強化事業～健幸家族づくり推進事業～
幸せ発見バスツアー ～未来の花嫁・花婿に向けて！～
『「婚活」「妊活」の最新情報をゲットしよう！』の開催について

三島市では、地域少子化問題に対応するため、結婚・妊娠・出産に向けた情報提供を行う健幸家族づくり推進事業『「就活」の次は、「婚活」「妊活」「育活」です。』（県交付金事業）として、結婚前の段階から、妊娠・出産・育児に関する知識を学習する場を提供します。

助産師及びブライダルプランナーから最新情報を学び、自分の将来に向けてのライフプランをイメージするための研修バスツアーを開催します。

記

- 1 **事業名** 幸せ発見バスツアー 「未来の花嫁・花婿に向けて！」
～「婚活」「妊活」最新情報をゲットしよう！～
- 2 **開催日時** 平成27年2月22日（日）午前8時30分～午後8時
- 3 **開催場所** 【集合場所】 三島市立保健センター
【バス行先】 県東部の「ふじのくにエンゼルパワースポット」
富士山本宮浅間大社 岳南電車 杉田子安神社 等
【体験研修】 「ザ・ラグシエナ」（三島市泉町9-34）
午後5時30分～ 模擬披露宴
- 4 **対象** 市内在住・在勤・在学の20歳～45歳の独身者40名*応募者多数の場合は抽選
- 5 **参加費** 3,500円（昼食代・夕食代〈フレンチハーフコース〉・保険代等）
- 6 **申込み** 【期間】 1月26日（月）～2月12日（木）
【申込み方法】 電子申請またはメール申込み kenkou@city.mishima.shizuoka.jp
- 7 **実施内容**
 - (1) 「今どきの妊活・出産事情」【講師】 助産師 新村 能子 氏
 - (2) 「今どきの結婚事情」、「模擬挙式と模擬披露宴の体験とマナー」
【講師】 「ザ・ラグシエナ」ブライダルプランナー
「ザ・ラグシエナ」グランシェフ 福島 利昌 氏
* 「ザ・ラグシエナ」との協働事業となります。
本来であれば休日は、結婚式の開催をする場所ではありますが、三島市少子化対策強化事業への理解と協力により、模擬挙式及び模擬披露宴の開催、並びに、募集活動に関するパンフレット3000部への掲載等にもご協力を頂いています。
- 8 **チラシ** 別添のとおり*報道の方の駐車場を確保しますので、事前にご連絡下さい。



地域少子化対策強化事業～男性の育児支援事業～ 「家事場のパパカ（ぢから）事業 第4弾」の開催について

三島市では、男性の育児支援の一つとして女性からの要望の高い家事援助を実施するため、家事に不安を持つ男性のための講座を11月から月1回、合計4回の講座を開催しています。

男性の家事参加の重要性の理解を図るとともに、代表的な家事である料理、片づけ・掃除、洗濯・アイロンがけ等について講師を招き、家事技術の習得を目指します。

今回はその第4弾として、「夫婦・カップルのイ・マ・ド・キ事情 講演会」を開催いたします。また、講座を通して参加者同士のコミュニティの創設を図るとともに、夫婦（またはカップル）間の絆を深め、地域で子どもを産みたくなる環境づくりにつなげることを目的としています。

記

- 1 事業名** 「家事場のパパカ（ぢから）事業 第4弾!
異色の講師が語る!夫婦・カップルのイ・マ・ド・キ事情 講演会」
★スタイルの違う3組の夫婦によるパネルディスカッションも開催★
～THE LUXSCENA〈ザ・ラグシエナ〉ランチ付き～
- 2 開催日時及び会場** 日時：平成27年2月22日（日）午前10時～午後2時
会場：THE LUXSCENA〈ザ・ラグシエナ〉（泉町9-34）
- 3 対象** 男女ペアで参加できる方で、以下の条件に該当する方
どちらかが三島市在住・在勤・在学で、①これから結婚を考えている、
または予定しているカップル②これから子どもをもつことを希望、または予定
している夫婦、もしくは、小学生以下の子どもを持つ夫婦
- 4 実施内容** 「夫婦・カップルのイ・マ・ド・キ事情 講演会」
講師：小野 美智代 氏（国際協力NGO ジョイセフ広報グループ長・HiPs代表）
「3組の夫婦によるパネルディスカッション」 協力：ママとね
- 5 参加費** 幼児（3歳～5歳）500円、小学生（6歳～12歳）800円
中学生以上（13歳以上）1,800円
- 6 募集人員** 50組（100人）（先着順に受付）
- 7 託児** 3歳～小学3年生まで（要事前予約・定員：先着30名まで）
- 8 申込期間** 平成27年2月2日（月）～2月16日（月）まで
- 9 申込方法** ①電子申請（24時間受付）、②電話 健康づくり課（973-3700）
- 10 チラシ** 別添のとおり
※報道の方の駐車場を確保致しますので、事前にご連絡ください。

問合せ 健康づくり課 電話 055 - 973 - 3700